

令和5年度 大阪府立生野支援学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時	令和5年6月19日(月) 10:00~12:00	
場所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、塩田 武史、閑喜 美史、永井 隆、半田 工、良川 秀子
	学校	大巻 雅彦(教頭)、松橋 秀之(教頭) 森 大介(首席)、岩城 智也(首席) 中野 貴啓(首席・中学部主事)、奥谷 美帆(高等部主事)
	傍聴人	小林 知子、岡本 康子
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教頭あいさつ 2. 協議委員嘱託・会長及び副会長の選出 3. 令和5年度「学校経営計画」について 4. その他 	
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度の学校運営協議委員の紹介を行った。また協議会会長に多田様が、副会長に塩田様を選出された。 2. 令和5年度「学校経営計画」について 「中期目標」の各項目について説明を行った。 3. 授業見学についての質問 <ol style="list-style-type: none"> ① 小・中学部の自立活動の取組みについて質問があった。小学部では更衣や荷物の整理などの身辺自立の確立を目標とした取組みや児童一人ひとりの課題を設定した活動を中心に取り組んでいる。中学部では毎日2時間めに自立活動の時間を設定し、個々の課題に応じた内容を主体的に取り組むことができるような工夫を意識しながら実施していると説明した。委員からは、取組みをするにあたり教職員の障がい理解や支援に関する専門的な知識の習得について、どのようにしているかという質問があった。担当者からは定期的に職員研修を実施しており、その際は大学教授などの各分野の専門的な方による研修を行っていることを報告した。その後、永井委員から、言語訓練に関する具体的な支援グッズ紹介やアドバイスを受けた。また、自立活動という授業枠で取り組んでいることについても良いことだと評価を受けた。 ② 高等部校内実習の見学を受けて、中学部・高等部段階での進路学習の取組みについて質問があった。中学部では進路学習の時間に高等部の生徒から清掃実習の方法を教えてもらったり、校外実習として企業での体験実習や地域清掃活動に参加したりしており、これらの活動を通して自分の意思を相手に伝えるなどのコミュニケーション力の向上を大切にしていると報告した。高等部では、より具体的な卒業後のイメージをもって進路学習に取り組んでおり、実習を通して自分の役割を意識することや、他者とコミュニケーションをとりながら自分のことに取り組む力を育てることを目的にしていることを報告した。委員からは、今後もこのような取組みをすすめるとともに、より生徒同士がチームになり課題解決をしていくような取組みを増やしてほしいという助言を受けた。 ③ 小学校支援学級卒業後の進路選択についての質問があった。担当者からは、地域の中学校や支援学校中学部への進学等があると説明をして、中学校卒業後の進路選択についても支援学校以外の様々な選択肢が増えてきていることを合わせて説明した。 3. その他(意見交換) 地域・保護者との連携において、地域で協力できることがあれば協力していきたいとお願いいただき、今年度も七夕の笹の提供をしていただくことになった。また、4月に開催された地域の祭りに高等部生徒が製作した商品を出店した件についても話題に上がった。 	
協議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度 学校経営計画 2. 令和5年度 年間行事予定(暫定版) 	
備考	学校見学	